

## 世界史A

教 科	地理歴史科	単位数	2	学科・学年	全科 3年
使用教科書	要説 世界史 改訂版（山川出版社）				
副教材等	プロムナード世界史（浜島書店） 担当教員が配布するプリント				

## 「世界史A」はどんな科目？

国際的な事件が多発するなかで、その背景となっている世界史は必要不可欠です。近現代を中心に学び、世界の大きなうねりを理解します。

## 「世界史A」の学習の特徴は？

- ① いろいろな社会の出来事に対する関心が高まります。
- ② 近現代を中心に学ぶために、前半の章に関しては深入りしません。
- ③ 世界史を理解するためには、宗教、文化の理解が大切です。

## 「世界史A」で大切なこと（留意点）は？

国際的なニュースが、いかに、近現代の世界史に深く関わっているか興味・関心を持って授業を受けること。

## 1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	第1章 諸地域世界の形成と交流	世の中の出来事を幅広く理解する。
	5	アジア世界・イスラーム世界 <中間考査>	日本と関係が深かった中国の歴史文化を理解する。
	6		ヨーロッパ世界 <期末考査>
	7		
2 学 期	9	第2・3・4章 一体化に向かう世界 <中間考査>	世界の覇権争いに、いろいろな国が参加し、現代にいたることを理解し、さまざまな現代の諸問題が、この単元に深く関わっていることを理解する。（日本史とも関連づける）
	10	中華世界の再編・ルネッサンスと宗教改革	
	11		
	12		
3 学 期	1	終章 20世紀の世界	学習内容が現実と乖離しないように、時事的なことを補足し、話し合いなどが積極的にできるようにする。
	2	戦争と平和・科学技術と文明 <学年末考査>	

## 2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	歴史的事象・人物に意欲的に関心を持ち、自ら調べようとする。
思考・判断	歴史的事象の因果関係を考察する。
技能・表現	歴史的資料などから、当時の生活・人生観などを考える。
知識・理解	歴史を学ぶことにより、現代社会の矛盾や問題の原因を理解し、あるべき社会を築いてゆく。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ◆年5回の定期考査
- ◆授業プリント（内容と提出状況）
- ◆出欠席状況、学習活動への参加状況（授業への取り組み・授業中の発言内容など）

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

世界史Aは、現代の諸問題ととても密接です。しっかり学習して、国際社会の一員としての自覚をしっかりとってください。